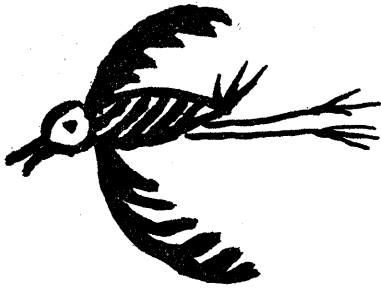


幼児のボール遊び（ボールゲーム）に関する研究



—— 幼児はどんなボールを好み、それをどのようにに操作するか ——

岡 本 卓 夫
西 真 田 光 代
三 谷 み や 子

今日の幼稚園や保育所の幼児の遊具としては色々のボールが使用されているが、それらは殆んど幼児自身の自由遊びに与えるに留まり、何ら組織的なボール遊びが構成されていない様である。元来ボールは幼児期から既に非常に魅力あるものであって、老年になっても長く愛好されているものである。これはどんなところに原因しているのだろうか、それは何よりも先づボールの持つ特殊性を考慮してみることに、よく理解出来ると思うのである。即ち、

(一) ボールは非常に変化性に富んでいると云うことである。従って絶対に同一状態にあり得ることなく、絶えず吾々に征服させ様とする意欲をそそらせる。即ち飽きる時期がないと云うことである。(二) 軽くて軟かいので使い易く且つ安全である。(三) 一人でも亦多人数でも面白く遊べる。(四) 従って人間関係の媒介剤ともなる。(五) 経費がかからず管理も便利である。などが主な特殊性として挙げられるだろう。

この様な特殊性を考える時、吾々はボールを単なる遊具として簡単にかたずけて了って良いであろうか。吾々は就学以前のこれ等の

幼児に対して教師が余りにも臆病になっている様に感じるのである。幼稚園、保育所の幼児であるといえども何号身体的にも小学校一年生とはかけ離れた特殊な存在ではなく、連続的な過程にあるのである。この事は筆者が廿九年度一ケ年を費し毎月実施した幼児（五歳児）の基本的運動能力の調査の結果からほぼ明らかになっているのである。従って小学校一年生より少し低次なものなれば充分幼児にもやれると思う。ボールを単なる遊具としてでなく、それを彼等の能力に合致する様合理的に組織立てて日々の保育に取入れてゆくことは、彼等の活動意欲を刺戟するのみならず、健康の面や、それ等の遊びを通して社会性を養う面からも、重要欠く可からざるものと思うのである。この様な意図のもとに吾々は何等かの形で低次な組織的ボール遊び（ボールゲーム）を見出さんとしてこの研究にとりかかったのである。

其の第一歩として、幼児はどんな性質のボールを好み、そのボールを持った時にどの様にハンドリングするか、に就いて実験したのが本研究である。

一、被験者 満五歳児

男一〇名
女一〇名

二、期 日

第一回テスト 卅年八月廿七日
第二回テスト 卅年九月廿一日

三、場 所 徳島市方上保育所

四、方 法 観察及質問法

(ロ) 環境

保育所の空室の中央に七ヶのボールを用意し観察者はその片隅に垣をして記録、時計を知られない様に位置し、担任教師は他方の隔で幼児の遊びを見守っている。

(ハ) 使用ボール

ソフトボール(皮) ベースボール、バレーボール(小学校用、皮) ラクビーボール(ゴム) テニスボール、ピンポンボール、幼児用色彩ボール。以上七個用意。

(ニ) ボール選択の条件

幼児が不断使い馴れたボールであること。
きれいなボールであること。
きれいな音のするもの。
小さくてもよくはずむボールなること。
小さくても余りはずまないもの。
大きくて良くはずむもの。

大きいが余りはずまないもの。
やわらかいこと。

イレギュラーバウンドするもの。

大きさが系統的に変化していること。

以上の条件でボールを選択した。

(イ) テストに入る前の教師の動機づけ。

「Aちゃん、さあいらっしゃい。今日は先生が色々のボールを沢山借りて来ましたよ、あちら(控室)で遊ぶと大勢いて皆に使われるので、ここで一人でどれでも好きなボールを使って遊ばせてあげるからしっかり遊びなさい。先生が此処に居てあげますからね、あそこに居る人(視察者)はよその人で、皆の方で仕事をするとやかましいから、こちらの静かな方です。置いています。あの方はかまわないのです。放って置きなさい。さあ遊びなさい。」

(ロ) この後直にストップウォッチを押した。

(ハ) 観察内容

一名ずつ、第一回テストは三分、第二回テストは二分間観察し其の間に
(イ) ボールに触れた順序
(ロ) ボールに触れた回数
(ハ) ボールに触れた時間

(四) 遊び方

(五) 其の他の行動

(イ) 質問内容

第二回テスト終了後再度一名宛呼び出し使用した七個のボールを前に並べて次の様な質問をした。

「ここに沢山ボールがありますが、若しどれでも好きなボールをあげますと云ったらAちゃんはどれを貰いますか」と云って一つを選ばせる。或ボールを選んだら、「それじゃ若しこのボールが無かったらどれを貰いますか」と云って他方へ順次除けてゆき、それを記録用紙に記入していった。

五、結果の整理

(次頁図表参照)

六、結果の考察

(イ) 幼児は何んなボールを選び出んか。
最初選出するボールは嘗て自分が経験した事のあるボールである。然しボールは円いものであると云う一般的概念に於て、そうでない変形したボール(例ラグビーボール)があると云う場合には、一度それを選んでみる。然しそれは為し方が理解出来ないとい

A) ボールに触れた順序 (3 番迄)

順序 性別	1			2			3		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
Ball									
幼児 ボール	3 (1)	8 (2)	11 (3)	2 (2)	1 (3)	3 (5)	2 (1)	4 (2)	6 (3)
ピン ボール	3 (3)	1 (1)	4 (4)	1 (2)	1 (2)	2 (4)	1 (1)	3 (3)	4 (4)
ラクビー ボール	1 (1)	1 (1)	2 (2)	2 (3)	3 (5)	5 (1)	1 (1)		1 (1)
バレー ボール	1 (4)		1 (4)	1 (1)		1 (1)		2 (1)	2 (1)
ベ ボール		(1)	(1)	(1)	(2)	(3)			
テニス ボール		(2)	(2)	(1)	1 (1)	1 (1)	1 (4)		1 (4)
ソフ ボール				1	1	1	1 (2)	1 (2)	1 (4)

B) 3 分間 (2 分間) で
ボールに触れた回数

Ball	性, 計 順, 男 女 計			順位
	幼児 ボール	12 (15)	17 (14)	
ピン ボール	4 (7)	7 (10)	11 (17)	3 (2)
ラクビー ボール	6 (6)	10 (5)	16 (11)	2 (5)
バレー ボール	4 (9)	5 (4)	9 (13)	5 (4)
ベ ボール	3 (5)	6 (3)	9 (8)	5 (6)
テニス ボール	4 (9)	5 (7)	9 (16)	5 (3)
ソフ ボール	3 (2)	5 (5)	8 (7)	7 (7)

註
○内数字は第二回テストのものを示す。

C) ボールに触れた時間 (秒)

Ball	性 計 順 男 女 計	順位		
ソフト ボール	7 (2)	12 (11)	19 (13)	7 (7)
ベ ボール	24 (41)	42 (58)	66 (99)	5 (6)
バレー ボール	12 (115)	47 (52)	59 (167)	6 (4)
ラクビー ボール	125 (47)	150 (43)	275 (90)	3 (5)
テニス ボール	14 (190)	72 (235)	86 (425)	4 (3)
ピン ボール	150 (276)	203 (270)	353 (546)	2 (2)
幼児 ボール	940 (391)	1099 (371)	2039 (762)	1 (1)
	21'12" (17'42")	27'05" (17'20")	48'17" (35'02")	

E) その他の行動

項目	性別	
	男	女
1 入室時にうろうろ部屋を見廻したもの	8 (1)	2
2 3 分間同じ動作をしたもの (ボールを使って)	2 (1)	1 (1)
3 全部のボールに触れていたもの	1 (1)	
4 全然ボールに触れないで窓によりかかったもの	2	
5 遊びながら先生と喋ったもの	1	

D) 遊び方

Ball	性 遊び方	男						女						
		手で触る押す持上げる	つく	転がす	投げる	蹴る	其他	手で触る押す持上げる	つく	転がす	投げる	蹴る	其他	
ソ ボール		1		(1)				2	2 (5)					
ベ ボール		(1)	(1)	1 (2)				3	3 (4)					
バ ボール		(1)	(3)	(2)				2	2 (4)		1			
ラ ボール		1 (3)	3 (2)	2		1		3 (1)	3 (3)	1 (2)	1			
テ ボール			1 (4)	(3)					2 (7)					2 (1)
ピ ボール		1	3 (5)		(1)				4 (8)					1 (1)
幼 ボール			6 (7)	1 (3)		1	1	1	9 (8)					2 (2)
計		3 (5)	15 (22)	4 (11)	(1)	2	1	11 (1)	25 (39)	1 (2)	2			5 (4)

註
○内数字は第二回テストのものを示す。

F) 質問の結果 (第二回テスト後)

順性	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位
男	ビ ン ポ ー ル	幼 ポ ー ル	児 ポ ー ル	テ ポ ー ル	ス ポ ー ル	フ ー ル	ソ ポ ー ル
女	幼 ポ ー ル	児 ポ ー ル	ビ ン ポ ー ル	テ ポ ー ル	ス ポ ー ル	ラ グ ー ビ ー ル	ソ ポ ー ル

が、其の期間中で自分が好んで使用した
云うボール(例テニス、ピンボン)で遊ぶ
のが多く、第一回テストと比較すると、そ
の消費時間に於て相当変っているのがみら
れる。故に本当に幼児が選出したボールは

か、直に自分の
能力で自由にな
らないと云う時
にはそれを放棄
し、又もとのボ
ールを使う。そ
して其処に提示
されたボールの
中の三、四を使
ってみて絶局使
い易いのを選
ぶ。其処で或期
間ボールを彼等
に貸与して全部
のボールで遊ば
せて見た後に於
ては一般により
多く経験したボ
ールを選出する

第二回テストC表に於て表われていると思
うのである。それは、幼児ボール、テニス
ボール、ピンボンボール等である。F表の
質問の結果を見ても大体同じ様な事が表わ
れている。

(b) 遊び方に就いて

幼児で面白いのは、それがどんなボールで
あろうとも、一応ドリブルしてみると云う
ことで、その後で一番よくはすみ、使い易
いので大半をドリブルして遊ぶ。又次に面
白いは、どれでもボールを手にしたら必
ず押してみることである。その後で持ち上
げたり廻したりして眺めることである。

転がして追っかけ廻すこと、女子は特にド
リブルし乍ら、股の下をくぐらすもの等も
少数あった。一般に遊戲中は注意散漫で殆
んど全部のものが気を他方にくばり乍ら遊
んで居り、ボールに対して精神を集中する
と云う時間は少い。

(ドリブルはマリツキの意。ここでは手で
たたいてボールを何度も弾ませる遊び。)

七、結論

- (i) 幼児に好ましいボールの性質
1. 良くはずむもの。

2. 軽いもの。(大きくても軽いもの)
 3. 軟かいもの。(ゴム製)
 4. きれいな色彩のさるもの。
 5. きれいな音のするもの。
- 以上の条件を備えて居れば大体幼児に適切
なボールであろう。又変形のもの(例ラグ
ビーボール)等も好かれるかも知れない。
- (b) ボールの操作
1. 手でドリブルする。
 2. 撫でたり押したり持ち上げる。
 3. 転がす。
- 以上が主なる項目であるが、他に投げる、
蹴る等も行われる傾行がある。

以上が第一回実験の結果であるが被験幼児
も少く方法其の他に不備の点もあると思うが
大体の傾向が出て来たと思うので報告する。